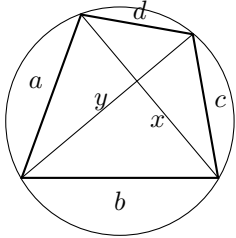




## トレミーの定理

定理. 円に内接する四角形において,  
向かい合う辺の長さの積の和は, 対角線の長さの積に等しい.



$$ac + bd = xy$$

証明. (三角形の相似を用いる方法)

下図のような, 円に内接する四角形 ABCD に対して, 対角線 BD 上に  $\angle BAE = \angle CAD$  となるように点 E をとる. まず, 次が成り立つことを示す.

(i)  $\triangle ABE$  と,  $\triangle ACD$  は相似, (ii)  $\triangle ACB$  と,  $\triangle ADE$  は相似.

(i) 円周角の定理から, 弧 AD に対する円周角は等しいので,  $\angle ABE = \angle ACD$  が成り立つ. また, 仮定より,  $\angle BAE = \angle CAD$  が成り立つ. よって,  $\triangle ABE$  と  $\triangle ACD$  は, 2角がそれぞれ等しいから相似である.

(ii) 円周角の定理から, 弧 AB に対する円周角は等しいので,  $\angle ACB = \angle ADB = \angle ADE$  が成り立つ. また, 仮定より,  $\angle BAE = \angle CAD$  が成り立っているので,

$$\angle BAC = \angle BAE + \angle EAC = \angle CAD + \angle EAC = \angle EAD$$

が成り立つ. よって,  $\triangle ACB$  と  $\triangle ADE$  は, 2角がそれぞれ等しいから相似である.

線分 AB, BC, CD, DA の長さをそれぞれ,  $a, b, c, d$  とおき, 対角線 AC, BD の長さをそれぞれ,  $x, y$  とおく.

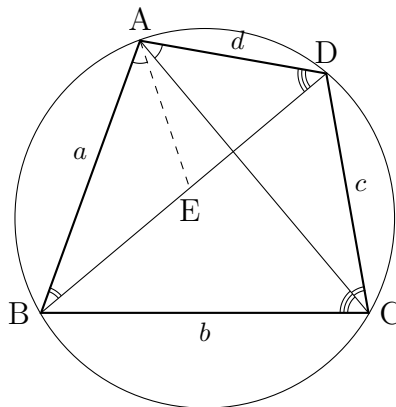
(i) より,  $a : BE = x : c$  が成り立つので,  $ac = x \cdot BE$  を得る. ... (iii)

(ii) より,  $x : b = d : DE$  が成り立つので,  $bd = x \cdot DE$  を得る. ... (iv)

(iii), (iv) の両辺を足すと,

$$ac + bd = x \cdot BE + x \cdot DE = x \cdot BE + DE = xy$$

が成り立ち結果がしたがう.



□

証明. (余弦定理を用いる方法)

下図のような、円に内接する四角形 ABCD に対して、線分 AB, BC, CD, DA の長さをそれぞれ、 $a, b, c, d$  とおき、対角線 AC, BD の長さをそれぞれ、 $x, y$  とおく. また、 $\angle BAD = \theta, \angle ABC = \varphi$  とおく.

$\triangle BAD$  に対して、余弦定理を用いることで、等式

$$x^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos \theta \quad (1)$$

を得る. また、 $\triangle BCD$  に対して、余弦定理を用いることで、等式

$$\begin{aligned} x^2 &= c^2 + d^2 - 2cd \cos(180^\circ - \theta) \\ &= c^2 + d^2 + 2cd \cos \theta \end{aligned} \quad (2)$$

を得る.  $cd \times (1) + ab \times (2)$  より、等式

$$\begin{aligned} (cd + ab)x^2 &= cd(a^2 + b^2) + ab(c^2 + d^2) \\ &= cda^2 + ab(c^2 + d^2) + cdb^2 \\ &= (ca + db)(da + cb) \\ &= \frac{(ca + db)(da + cb)}{cd + ab} \end{aligned} \quad (3)$$

を得る. 同様にして、 $\triangle ABC$  と  $\triangle ADC$  にそれぞれ余弦定理を用いることで、2つの等式

$$y^2 = a^2 + d^2 - 2ad \cos \varphi, \quad (4)$$

$$y^2 = b^2 + c^2 + 2bc \cos \varphi \quad (5)$$

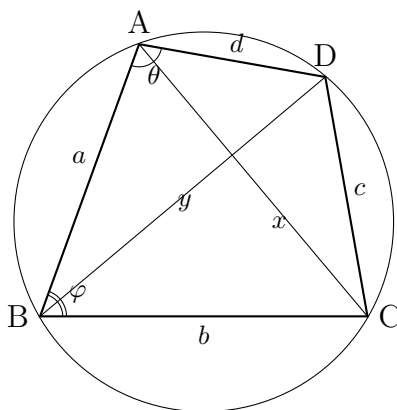
を得る.  $bc \times (4) + ad \times (5)$  より、等式

$$\begin{aligned} (bc + ad)y^2 &= (ba + cd)(ca + bd) \\ y^2 &= \frac{(ba + cd)(ca + bd)}{bc + ad} \end{aligned} \quad (6)$$

を得る. (3)  $\times$  (6) により、

$$x^2 y^2 = \frac{(ca + db)(da + cb)}{cd + ab} \cdot \frac{(ba + cd)(ca + bd)}{bc + ad} = (ca + db)^2$$

を得るが、 $xy > 0, ca + db > 0$  なので、 $xy = ac + bd$  がしたがう.



□